

ワルター・ヒルガース（1959年 Stolberg/Rheinland生まれ）は1995年よりワイマール フランツリスト音楽大学にて室内学科（主に管楽器）教授であり、そして2007/8年のシーズンよりルーマニアのTimisoaraフィルハーモニーの第一客員指揮者を務めている。客員指揮者として彼はここ数年ヨーロッパ各国、そして韓国をはじめとするアジア諸国にも招かれている。

2008年2月のルーマニアのBukarest放送交響楽団における大成功のデビュー後、更なるBukarest放送交響楽団そして2008/9年のシーズンよりはルーマニア放送室内管弦楽団との演奏会も予定されている。

Rheinland国立音楽大学、Grenzland Institut Aachenを卒業後、1978年に彼はチューバ奏者としてデュッセルドルファー シンフォニカーへ入団、と同時にRheinland国立音楽大学とRobert Schumann Institut Düsseldorfにて後進の指導も始める。その1年後、バイロイト音楽祭オーケストラの一員に招かれ、その後12年間メンバーとして演奏。その他にもハンブルグ国立歌劇場、NDRハンブルグ交響楽団そしてウィーンフィルハーモニーでチューバ奏者として活躍。30年間の様々なオーケストラでの活動の間、ヘルベルト フォン カラヤン、ロリン マゼール、クラウディオ アバド、ダニエル バレンボイム、ズビン メータ、アンドレ プレヴィン、ピエール ブーレーズ、ゲオルグ ショルティ、ジェイムス レヴァイン、小澤征爾、リッカルド ムーティ、ベルンハルト ハイティンク、ギュンターヴァンドなどの指揮者の元で演奏。彼は金管楽器のブラスアンサンブル、ジャーマンブラスの創立メンバーでもありその後25年間メンバーとして活躍。

ワルター・ヒルガースは彼の豊富な知識そして経験を音楽家の後進に伝えることに尽力している。1978年よりデュッセルドルフ、アーヘンそしてリュベックにて後進の指導を始め、1989年-1995年にはハンブルグ音楽大学にてチューバと室内楽の教授を務める。1995年にワイマール音楽大学招聘され、今にいたる。